

願う

いつからか

月を見上げては

心のなかで願い事をつぶやいている

お互いにまだ生きているのに

会えなくなったあの人のこと

またいつか会えますように

またいつか楽しくおしゃべりできますように

またいつか一緒に仕事ができますように

また私のことを好きになってもらえますように

叶うかどうかもわからないのに

叶うことなどないかもしれないのに

願い続ける私の横で

冷めた目をした私が私を見る

いい加減に現実をみたらどうだと言ってくる

叶うわけないだろうと言ってくる

気づかないふりをしてみても

だんだんと冷たい視線に耐えきれなくなり

私は願い事を変える

「あの人が、ずっと笑って生きていけますように」と

どちらの願いが本当でどちらが嘘なのか
私にもわからない

それでも私は今日も月を見上げて願う
行き先のないあの人への気持ちを抱え
心のなかでつぶやいている

また、いつか